改善目標（ＫＰＩ含む）

※目標値は、いずれも現状を基準としたもの

Ｒ元．１０月結果

○在校時間の削減【業務改善アシスタントの必要性及び効果】

勤務時間を除く在校時間を、拠点校で１５％（約３０分）削減(H30.6)＝１１．７％（２４分）
⇒２０％（約４０分）削減(Ｒ元.6)＝１１．７％（２４分）
その他の学校で５％（約１０分）削減(H30.6)＝４．９７％（９分）
⇒８％（約１５分）削減(Ｒ元.6)＝３．３３％（７分）

○子供と向き合う時間の確保、教材研究や授業準備の時間確保、ワーク・ライフバランスの向上、持ち帰り仕事の日数減少、負担感の軽減（教職員アンケートの回答項目）

拠点校で５pt(H30.2)＝６．２pt 向上⇒１０pt(H31.2)＝１６．９pt 向上⇒１５pt(R 元.7)＝１５．８pt 向上
その他の学校で３pt(H30.2)＝２．７pt⇒７pt(H31.2)＝１３．３pt 向上⇒１０pt(R 元.7)＝８．５pt 向上

○県学力・学習状況調査の向上

県学力・学習状況調査の結果で、学力を伸ばした児童生徒の割合
平成２９年度時点より年々増加　（Ｈ２９）６９．４％⇒（Ｈ３０）６９．７％⇒（Ｈ３１）７０．４％
自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合＝３％増(Ｒ元.7)（Ｈ２９）７５．９％
⇒（Ｈ３１）７５．４％

○年次休暇が取りやすい環境

年次休暇平均取得日数
拠点校で１０％増(H30.1)＝増減なし⇒１３％増（H31.1）＝９％増
その他の学校で５％増(H30.1)＝３％増⇒８％増（H31.1）＝３％増

○伊奈町の取組を県内外に発信　協議会での取組発表、視察対応等　年１０回＝(Ｈ２９)１９回⇒（Ｈ３０）３１回

○部活動の適切な在り方の完全実施　(H31.4.1 まで)　（推進中）